

**2015年
2月号**

発行日 平成27年2月16日(第81号)
(月1回/毎月15日発行)
発行元 オフィスタ広報・宣伝部
東京都新宿区西新宿5-8-1第一ともえビル

特集：『バレンタインデー』

/オフィスタ広報・宣伝部

オフィスタNEWS 第81号発刊にあたって

年末から慌ただしさを引きずり、いつの間にか節分も過ぎていました。気が付くと眉間にしわをよせて出社の足を速めていたところ、リズムカルに颯爽と先を歩く社内の女性を見つけました。彼女曰く、美容と健康のために電車数駅分歩いているが最近では日差しの強さを感じるので日焼けに注意したいとのこと。仕事に家事に育児に忙しく自分時間捻出の難しい彼女に素敵な女子力を感じました。また別の社内の女性は残業続きで多忙を極める中、朗らかに業務にあたる姿が素敵です。決して表には出さない苦心や苦勞の裏付けのある決断は、誠実で強くてかなわないかと、年下の彼女たちからたくさん教えられました。

クリエイティブな職種のみならず、ユーモアや大人の余裕は良い仕事につながりますよね。私たちに身近なオヤジギャグも「また言ってる」と残念な心のつぶやきを誘発しますが、仕事で疲弊した心にほっと隙間を作り案外業務効率の向上に一役買っているのかもしれないね。今月号はバレンタインに関連した女子力やできる男度UPのヒントが登場しますのでお見逃しなく！

“はたらかたいという気持ちを大切に“そして”家庭もお仕事も大切に“

オフィスタは仕事と家庭の両立を目指してはたらく女性/ママさんを応援します。

今回のオフィスタNEWSもお気軽に読んでくださればと思います。



- オフィスタのホームページをご覧になったことがありますでしょうか？オフィスタではWEB上でも色々なお仕事、メルマガバックナンバー、Q&Aなど有益なコンテンツを揃えております。

アドレスは下記↓

<http://www.offista.com>



お問合せ先 : Mail. info@offista.com
TEL.0120-178-172 (フリーダイヤル)
FAX.03-3379-5596



@offista

@offista_twt

編集 オフィスタ広報・宣伝部 メルマガ担当係
発行 日本プランニング株式会社 <http://www.offista.com>
はたらく女性を応援します/育児とお仕事 人材派遣のオフィスタ
※オフィスタNEWSバックナンバーもホームページから閲覧できます。

(C)2015 OFFISTA

特集：『バレンタインデー』

/オフィス広報・宣伝部

今年のバレンタインデーは土曜日。女性たちの間では「義理チョコを配るかどうか」の会議が密かに開かれ、チョコレートあげるかどうか大きな議題となっていた様子。女性たちのホンネが気になるところではないでしょうか。そこで今回は、バレンタインデーについて調べてみました。



バレンタイン特集

バレンタインデー (Valentine's Day) は、2月14日に祝われていたキリスト教の元聖名祝日でカトリック教会の正式な祭日ではないが、世界各地で男女の愛の誓いの日に意味を変え継続して祝われています。270年頃に殉教したとされる聖人ウァレンティヌス(テルニのバレンタイン)を悼み祈りを捧げる日であり、ウァレンティヌスと恋人達のロマンスとは無関係。男女の恋愛の聖人と呼ばれ記念日へと変貌したのは15世紀の事。

日本では1958年頃から独自の発展を遂げて、女性が男性に愛情の告白として本命チョコを贈る習慣があります。西欧・米国でも恋人やお世話になった人にチョコレートを贈ることはありますが、決してチョコレートに限定されているわけではなく、またバレンタインデーに限ったことでもありません。女性から男性へ贈るのが殆どという点と、贈る物の多くがチョコレートに限定されているという点が日本独自のバレンタインデーの大きな特徴です。この他、職場における贈答習慣が強い点や、キリスト教との直接的関連性が殆ど意識されていない点も日本型バレンタインデーの特徴です。

1960年に森永製菓が『愛する人にチョコレートを贈りましょう』と新聞広告を出し、更に伊勢丹がバレンタインデー・フェアを開催してこれがバレンタインデー普及の契機となったとする説が有力です(諸説有り)。更に日本独自の習慣が1980年に登場したホワイトデーと義理チョコです。

福岡県の和菓子屋が「ホワイトデー」という名称を用いたのが起源とされます(前身にマシュマロを贈るマシュマロデーというものがあった)。西欧などでは、男性も女性も花やケーキ、カードなど様々な贈り物を恋人や親しい人に贈ることがあるが、日本に見られるようなホワイトデー(バレンタインデーと対になるような日で日本が営利のために考案した)の習慣は勿論ありません。

今では日本のチョコレートの年間消費量の2割程度がこの日に消費されると言われるほどの国民的行事となっており女性が男性にチョコレートを贈ると同時に愛の告白をするといった主要目的以外にも、ただの友人や恋愛感情を伴わない相手にもチョコレートを贈る「義理チョコ」という習慣が定着しています。また女性が女性へチョコレートを贈る「友チョコ」がバレンタイン市場・商戦を支える存在として発展し2月14日の国内製菓販売の市場規模は拡大傾向となっています。

独身男女(20代~30代)に対するアンケートによれば、「チョコレート受け渡しの習慣なんかなくなればいい」という回答がOLで70%、同じく男性社員は50%でした。但し、OLの反対意見では、女性の側から贈る習慣に反対しているのもあって、男性側から贈られるのであれば賛成とする「ご都合主義的意見」も多いようです。同じく男性側はホワイトデーのお返しが必要な金銭的な負担となっており、この義務的なイベントに対する不快感を強く持っている人が多いようです。妻子ある男性までも、他人の女性にプレゼントをすることを強要されており、その分のお金を妻や子供に対するサービスに費やしたいと考えている男性にとっても非常にありがたいイベントとして不人気です。



また、労働法の専門家によると、職場内におけるバレンタインデー・ホワイトデー・おごりの強要は『環境型セクシャルハラスメント』の温床とされており、危険性を指摘する声も出ています。性別を理由に一定の義務を課

し本人の意に反する行為を強要するわけであるから、環境型セクシャルハラスメントにあたり、しかも女性のみならず『男性が被害者』になることが毎年職場内で継続して発生するという珍しいセクハラ現象であると言われています。また、一部の中学校では教育委員会を巻き込んでチョコの受け渡しを校則禁止するという騒動に発展したケースもあるそうです。少々大袈裟ではないかとも思いますが、最近ではこのように法的な賛否も分かれています。

なお、若い世代には、「日頃の感謝の気持ちを表す機会」が69%、次いで「コミュニケーションの円滑化」(49%)、「楽しい年中行事」(32%)という前向きな回答結果がある反面、35歳以上は「会社での義理チョコのやりとりがあった方がいい」が26%、「ない方がいい」が74%とネガティブなイメージがあり、**年齢が上がるほど否定的傾向が顕著に強くなる**ようです。



■バレンタインデーが土曜日の今年も、職場内で「義理チョコ」の配布は行われたのか？

一般の女性 500 名に対して「バレンタインにプレゼントをあげますか」と質問した結果、「2月13日か16日にプレゼントをする」と答えた人が32%、「考え中」と答えた人は27%、「プレゼントはしない」と答えた人は40%でした。更に、「プレゼントをする」と答えた人にそのお相手を探した結果、「恋人・配偶者」が42%、「家族(配偶者以外)」が27%、「**会社関係**」が13%、「友達」が6%、「自分」が5%となりました。今年のバレンタインデーにプレゼントをあげるかどうかを迷っていたり、プレゼントをしないと決めている女性は約7割にものぼり、恋人や配偶者、家族以外にはプレゼントをする予定がない様子。

バレンタインデーが平日でないと、会社関係者にあげるかどうかを悩んでしまうようです。そう考えると、女性にとって「義理チョコ配り」は平日だからこそ行うものの、やはり本当は気の進まないイベントなのでしょうね。



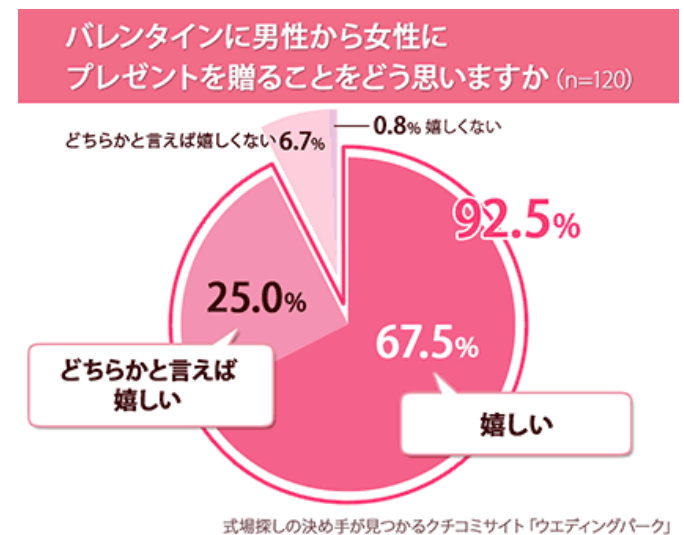
■実は面倒だった!? 女性の「義理チョコ」への想いが判明

ズバリ「義理チョコをどう思いますか」と尋ねてみると、「あった方がよい」が9%、「時と場合による」が50%、「ない方がよい」が40%となりました。「あった方がいい」と「ない方がいい」の回答比は1:4。圧倒的にない方がよいと考えている女性が多いということですね。毎年女性社員からの義理チョコを期待していた男性陣にとってはちょっと寂しい現実が浮き彫りになりました。

その理由を尋ねた結果、「あった方がよい」派の意見は「**日頃の感謝を伝えられる**」とか「**円滑な人間関係のため**」など。一方で、「ない方がよい」派の意見は「お互いに面倒」とか「時間とお金の無駄遣い」などでした。更に、「時と場合による」派は「人間関係が円滑になるなら」「お互い負担になる場合もある」など、お互いに負担にならず気持ちよく贈り物をし合える関係性の場合には良いと考えているようです。

ちなみに、男性にも「義理チョコをどう思いますか」と尋ねた結果、なんと「あった方がよい」派はたったの9%。「義理チョコをもらったらどう思いますか」という質問には「素直にうれしい」(55%)との回答が多くを占めたものの、「お返しが面倒」(26%)という人も。特に職場においてバレンタインデーは男性にとってドキドキわくわくの1日とは必ずしも言えないようです。

お返しが面倒とか、セクハラではないかなど色々な意見がありますが、こんなアンケート結果もありますので、本誌をお読みの男性社員の方はたまにはバレンタインに女子職員に感謝をこめてプレゼントを贈って職場環境の円滑化を図ってみるのもアリかもしれませんよ。



出典・参考：Wikipedia「バレンタインデー」「バレンタインについてのWEBアンケート」(保険クリニック)

☆☆企業が抱えるこれからの人件費7重苦☆☆

/オフィスタ人事管理部

企業倒産はバブル期以来24年ぶりに1万件を割る、

『東京商工リサーチが先月発表した平成26年の全国企業倒産状況によると、倒産件数は前年比10.3%減の9731件と6年連続で前年を下回った。負債総額は32.6%減の1兆8740億円と2年連続のマイナス。倒産件数が1万件、負債総額が2兆円をそれぞれ割り込むのは、バブル経済期の平成2年以來24年ぶり。要因として、金融機関が中小企業の返済猶予に応じていることや、4月の消費税率引き上げに伴う景気対策として公共事業を前倒しで執行してきた政策が挙げられる。倒産件数は33都道府県で前年を下回り、全国的に倒産は減少した。上場企業の倒産は24年ぶりにゼロだった。一方、円安に起因した倒産は前年の139件から282件へと倍増。後継者難や人件費高騰など、人手不足に関連した倒産も目立った。東京商工リサーチでは「輸出企業を中心に業績が改善する一方、中小企業の業績改善は遅れている。消費税増税後の消費者心理は低迷し、人手不足も中小・零細企業の経営を圧迫している」などとして、この春先から企業倒産が緩やかに増加に転じると予想している。』

(出典：2015年1月13日付 産経新聞)

2007年を契機に団塊の世代が企業から消えてしまったこともありますが、後継者が育っていない中で新たに人員を採用し育成することが企業に重くのしかかります。

- ①年功序列制度廃止の動きはあるが、まだまだ日本企業においては給与の昇給が年功的であること。若い世代を採用すればするほどこの増大額は将来的に大きくなる。
- ②賞与が基本給×月数で計算されるのが風習的な日本においては年功制に比例して賞与額も増大する。
- ③退職金（賃金×勤務年数乗率×自己・会社都合乗率）。
- ④少子高齢化に伴い企業側の法定福利費負担額の増大（健康保険+厚生年金保険+労災保険+雇用保険）。
- ⑤都内地価と収入見通しの不均衡から郊外居住が増えることに伴う通勤交通費の増大が将来顕著になる。
- ⑥消費増税で労働者が希望する賃金給与額が上昇し、満足できる賃金を用意できない場合は定着率が低下する。
- ⑦人手不足からくる採用に係る求人広告費の高騰。

かつては①～④を指して企業の人件費4重苦と呼ばれていましたが、これからの時代は上記の“人件費7重苦”へと変化し中小企業を圧迫してくることが予想されます。これからの企業倒産は人件費に起因するケースが増えるため、ハケン・パート・アルバイトなど雇用形態の見直しが各企業で迫られることになりそうです。

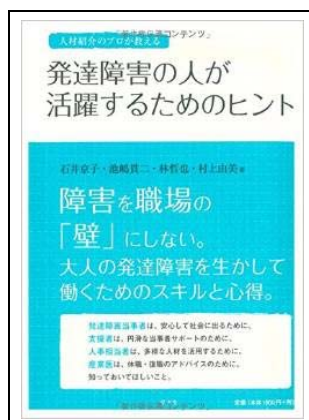
☆☆(社)日本雇用環境整備機構からお知らせ☆☆

/オフィスタ業務管理部

新刊のお知らせ ～読者プレゼント～

一般社団法人日本雇用環境整備機構（JEE：東京都新宿区）の理事長を務める石井京子氏が執筆する発達障害者の雇用に関するシリーズ本の第5弾『**発達障害の人が活躍するためのヒント**』が発行されました。

発達障害者当事者が安心して社会に出るために就労支援者として知っておくべき知識、企業の人事担当者は多様な人材を活用するために知っておくべき知識、産業医は休職・復職のアドバイスのために知っておくべき知識や事項及び留意点を解説した一冊です。支援者の方々や人事担当者のみならず、障害者雇用に関わる役職員・管理者・総務担当者に向けて、円滑な当事者サポートができるように事例を取り上げながら解説します。大人の発達障害を生かして働くためのスキルと心得をまとめた、支援者・管理者に向けて執筆された必携本です。



この新刊をオフィスタ・ニュースをご覧のみなさまから抽選で1名様に贈呈いたします。

『発達障害の人が活躍するためのヒント』

著者：石井京子

発行：弘文堂

規格：A5判、183頁

頒価：1,950円(税込)

【著者経歴】

- ・武蔵野大学講師
- ・(社)日本雇用環境整備機構理事長
- ・(社)日本オストミー協会理事
- ・(社)ナンフェス ウォーク&ランフェスタ実行委員
- ・内閣府「民間団体において相談業務に当たる職員の資質向上を図るための研修」講師
- ・NHK Hartフォーラム「発達障害者の就労」パネリスト
- ・三鷹市障がい者地域自立支援協議会委員

＜応募方法＞

オフィスタ総務部まで、氏名・連絡先を明記のうえ、メール又はFAX等にてご応募ください。(H27年2月28日〆切)

※応募者の中から抽選をもって選ばさせていただきます。当選は発送をもって替えさせていただきます。(宛先は1頁目参照)

●本機構発刊書籍は下記ホームページ参照。

<http://www.jee.or.jp/publication/publication.html>

☆☆お仕事Q&Aコーナー☆☆

質問者：NRさん 24歳女性

Q. わたしはハケンではたらいています。昨年国立大学を卒業しましたが、自身に発達障害があると自覚しており（障害者手帳は取得していない）、まずはハケンで社会人としてはたらくという選択肢を選びました。人とコミュニケーションをとるのが苦手なため、職場の上司からは「会社は組織の和も大事だから、もっと周囲に愛想よくしてくれないと困るよ」と注意されてしまいました。自身に障害があることを職場に言うべきかどうか迷っています。いまの仕事にも満足しているので、その告白によって解雇されてしまったり、周囲からの見目が重荷になりたくないのですが、”職場が気に入らないから無愛想なのだろう”と誤解をされてしまうのも困ります。通常、障害がある労働者はどうしているのでしょうか。

A. 「会社は組織の和も大事だから、もっと周囲に愛想よくしてくれないと困るよ」ということだけで、解雇されるということはありません。労働契約法で「**解雇は客観的に合理的な理由があって社会通念上相当でない**と認められない」とされているからです。また、障害を告白することによって解雇することも「客観的に合理的な理由」がありませんし、障害者というだけで解雇することは人権侵害になります。問題は”周囲からの見目が重荷になりたくない”件と、”誤解される”件をどう考えるかです。障害者だということを隠したい、告白することによって特別な目でみられたくないと思えば告白する必要はありませんし、隠すことによって職場が気に入らないと誤解されることがイヤだと思うのであれば告白すべきです。個人的には、障害を告白して職場や会社の理解を求めべきと思いますが、要はあなたが障害があっても会社に十分貢献しているという自信をもって日々の仕事を全うする事が大事だと考えます。（大滝）

…<そのほかの気になるお仕事の疑問募集中>…

お仕事に関する疑問なんでもどしどしお寄せ下さい。オフィスタの顧問社労士をつとめる大滝岳光先生（神奈川県立産業技術短期大学）と馬場実智代先生（馬場社会保険労務士事務所長）がお答えしてくれます。

▼あなたのお悩みも受け付け中。仕事や職場に関する疑問をお寄せください！

▼過去のQ&Aバックナンバーはオフィスタ・ホームページからダウンロードできます。

<http://www.offista.com/coffee/index/coffee.html>

☆☆手作りチョコレートレシピ☆☆

/オフィスタ総務部

バレンタインデーには手作りチョコレートをプレゼントしてはいかがでしょうか。わたしはマドレーヌショコラを作ってみましたので、そのレシピをご紹介します。



【ハートのマドレーヌショコラ約10個分材料】

- 卵 1個
- 砂糖 50g
- 薄力粉 40g
- ココアパウダー 10g
- ベーキングパウダー 2g
- バター 50g

- ①卵と砂糖を混ぜ、湯煎にかけながら砂糖を溶かす。
- ②ふるった薄力粉とココアパウダーとベーキングパウダーを①の中に入れてよく混ぜる。
- ③レンジで溶かしたバターを②の中に入れて混ぜる。
- ④型に流し入れ200℃のオーブンで15分～20分程度焼く。

マドレーヌと言えば貝殻の形が一般的ですが、ハートの型で焼くと見た目もかわいく、バレンタインっぽくなりますね！さらに可愛くラッピングしたら見た目も華やかになります。みなさんは今年どんなチョコレートを作りましたか？

派遣クイズ

職場の上司や同僚にバレンタインデーのチョコレートを配ることについて、次のうち適切なものはどれでしょう。

- ①役職の高い順に、値段の異なるチョコレートを配った。
- ②すべての上司・同僚に同じチョコレートを配った。
- ③女性の上司にもチョコレートを配った。
- ④チョコレートは配らない。



(答えは最終ページ)

☆☆お仕事情報コーナー☆☆

国土交通省系公益法人での経理のお仕事

公益財団法人事務局での経理のお仕事です。日々の伝票起票・伝票仕訳・会計ソフトへの入力・小口管理などが主な業務です。簿記2級程度の知識で経理経験がある方を募集。週2～3日（出勤日は毎月相談のうえ）勤務で1日5～6時間からはたけますので、扶養内希望の主婦やママさん歓迎。

勤務形態：派遣 就業開始日：3月上旬から開始予定
期間：長期（複数年以上）
勤務地：新橋（新橋駅から徒歩5分）
勤務日：月～金で週2～3日程度
勤務時間：9：00～17：00の間で5～6時間
時給：1,250～1,300円（別途交通費支給）
スキル・経験：

- ① エクセル・ワード（初級程度）
- ② 経理・会計の経験3年以上
- ③ 簿記2級程度の知識
- ④ 自分で考えて行動できる方を求めていますので、誰かが指示・監督してくれないと仕事ができないタイプの方は向いていません。

このお仕事はメルマガを愛読いただいている方を優先に、ご紹介しているお仕事です。エントリーはメールまたはお電話にて受付けております。（その他のお仕事についてはオフィスタ公式ホームページをご覧ください）

いいお仕事との出会いは一瞬です。

“明日からではなく”

<http://www.offista.com>

…<メルマガ オフィスタ NEWS について>……

★お問い合わせ先

●配信停止

<http://www.offista.com/mailout.html>

●メールアドレス変更

<http://www.offista.com/melmaga.html>

●プライバシーポリシー

<http://www.offista.com/privacy.html>

●バックナンバーは下記からダウンロードできます

<http://www.offista.com/melmaga.html>

MEMO :

このメールはオフィスタ・メルマガ希望者及びオフィスタ関係者へお送りしております。この内容に覚えがない場合や、システムに関するお問い合わせは下記まで。

お問い合わせフリーダイヤル/0120-178-172

お問い合わせ受付時間/10:00～17:00（土・日曜日、祝日を除く）

本誌の一部または全部を無断で引用、転載、放送することは、法律で定められた場合を除き、著作権者の権利の侵害となります。あらかじめ許諾をお求めくださいますようお願いいたします。

☆☆編集後記☆☆

〇おわりに

中東の物騒な事件に日本も巻き込まれて暗い雰囲気漂う最近ですが、殺害されたジャーナリストのレポートに子供たちへの言及が多いことに気が付きました。中でも、戦地の子供たちに将来の夢を尋ねたところ”夢”の意味が分からないと返ってきたとのこと。これが戦争の紛れもない現実なのだと思います。綺麗な景色を知らない、美しい景色や世界を知らない子供たち。正直、今回のことがなければこのようなレポートも目にする事はなかったかもしれません。故人のご冥福と戦地の子供たちへも夢をと祈るばかりです。 Junco 記

オフィスタ NEWS 第81号作成委員

編集長 Hiroko オフィスタ広報・宣伝部
編集 Reiko オフィスタ総合管理室
監修 makoto オフィスタ業務管理部
執筆 Yakka オフィスタ人事管理部
Nozomi オフィスタ人事管理部
Junco オフィスタ総務部
Ayana オフィスタ総務部

協力 大滝岳光人事労務研究所
馬場実智代社会保険労務士事務所
一般社団法人日本雇用環境整備機構

参考 産経新聞（2015.1.13付）
オフィスタ・ハケンニュース
<http://offistapress.1616bbs.com/bbs/>

派遣クイズの答え：全て適切

バレンタインデーはイベントですので労働法上何の取り決めも定めありませんので各人の自由意思で宜しいと思います。ここでは職場での参考回答として記述します。①は役職順に値段の異なるチョコを配るのは良いですが、差が明らかになるのは大勢の前では避けた方が良いでしょう。②、③は無難で結構だと思います。④は職場の女性陣の方針や自分の気持ち、職場の雰囲気もあると思いますので配らないのも有りでしょう。バレンタインは義務でも強要するものでもありませんのであくまで参考までに。



オフィスタは次世代育成支援
対策推進法第13条に基づく
厚生労働大臣認定企業です。